

平成 17 年 12 月 15 日(木)

(財)全日本スキー連盟  
日本スキー指導者協会  
会長 田 英夫  
事業担当  
副会長 大澤 佑吉

## 第 7 回 SIJ カップ キロロ 大会 の 中 止 に つ い て

拝啓 師走の候、皆様方ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご厚誼にあずかり、厚く御礼申し上げます。

さて 4 月に開催される恒例の SIJ カップ について、事業計画の細部検討に入りツア一催行の見積書を手細に検討致しましたところ、昨年度と比較して大幅な料金の値上げがありました。これは燃油の高騰や航空会社の料金値上げなどである程度予測されておりましたが、ここまでの値上げとは想定外でした。ここに至っては目的の催行最少定員を満たすことは大変困難であることが予想されます。従って日本スキー指導者協会常任幹事の皆様方のご意見などを広く伺いました。北海道ブロックからは、6 回の実績を積み上げ地元としてもこれまで以上に最大限の支援を辞さないで計画通り決行を希望するとのありがたいお言葉も頂きました。また今後の事業計画の方策など提案された建設的な意見などもありました。これらをふまえ早速南関ブロックと中央事務局会議を開催し、この件につき全体的に思案を巡らしましたが、集客に自信を持ってないことが最大の理由で第 7 回大会は中止を決断させて頂きました。長年多大のご協力を頂いた地元北海道スキー指導者協会の皆様方や毎回参加下さった常連の先生方、ご協賛頂いた数々の皆様方と今シーズンはお目にかかれない一抹の寂寥感にかられます。

ちょうど良い機会でしたので、SIJ カップ 大会の今後の運営方針について諸種検討を致しました。今期の総会でも懸案事項とされております、西日本ブロックとの交流を図るための布石を考え、次回は八方尾根や岩岳、または東北、関西等のコースで開催可能かどうかなど検討いたしたいと考えております。第 7 回 SIJ カップ キロロ 大会は総会の承認事業ですので、シーズン半ばでの変更の経緯について関係者の皆様一刻でも早い連絡を致し、ご迷惑のかからないようにと願う次第です。 敬具